



第88期中間事業報告書

平成 16 年 4 月 1 日から平成 16 年 9 月 30 日まで

— 株主の皆さまへ —



株式会社 マンダム

証券コード 4917

株主の皆さまへ



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度「平成17年3月期中間事業報告書」を作成いたしましたので、概況についてご報告申し上げます。

業績の概況

第88期(平成17年3月期)上半期の連結売上高は、国内関係会社において売上は低迷したものの海外での持続的な高成長に加え、マンダム(単体)における猛暑効果による夏シーズン品の2ケタ増収などで前期比5.8%増加し254億26百万円となりました。

経常利益は前期より12.7%増加し、44億84百万円となりました。増収率より高い増益率となりましたのは、国内関係会社における販管費抑制と海外関係会社の政策的な下半期への販管費シフトが主要因であります。

中間純利益は前期比8.2%増加し、21億90百万円となりました。経常利益の増益率より低い増益率となりましたのは、主に国内関係会社の繰延税金資産を取り崩したことにより税負担が増加したことが要因であります。

しかしながら、経常利益・中間純利益とも5中間期連続の増益、最高益を達成することができました。また、当期

目次

株主の皆さまへ	1
トピックス	3
財務ハイライト [連結]	5
財務ハイライト [単体]	6
財務諸表 [連結]	7
財務諸表 [単体]	9
会社概要	11
連結会社の状況	12
株式の状況	13
第87期事業報告書アンケート結果	14

の中間配当金につきましては当初予定通り、1株当たり25円といたしましたことをご報告させていただきます。

国内・海外事業の概況

当上半期における日本経済は景気回復基調が持続しておりますが、個人消費については依然として本格的回復に至らず一進一退の展開となりました。化粧品市場においても販売数量が伸びない中で販売価格水準の低下が進み市場競争は一層激しくなっております。

国内事業は国内関係会社における女性化粧品事業の低迷が続いておりますが、マンダム(単体)の猛暑による夏シーズン品の売上拡大で補い、増収を確保することができました。

一方、アジア地域における景気は堅調に推移し、化粧品市場も総じて順調に拡大しております。

アジアにおいては、主力ブランド「ギャツビー」のブランド認知力を高めるために、アジア水平展開でA&P投下を積極的に行ってきました。その結果「ギャツビー」ブランドは前期比38.3%と大幅増収したことに加え、インドネシア・韓国が大幅に売上を拡大したことによって、アジアにおける売上高は前期比24.7%と大幅増収を達成いたしました。

連結売上高に占める海外売上比率は25.4%に高まり、グループ事業の成長の中核として大きな役割を果たしております。

通期の見通し

国内においては、現在、国内関係会社の女性化粧品事業の再構築を進めておりますが、今下期においては収益の減速基調は続く見通しであります。

またマンダム(単体)にて、国内3PL関係費用の増額及び海外各社の販売費の下期へのシフトも予定しており、下期は減益を余儀なくされます。

しかしながら、海外事業を中心にグループの成長基調は変わらず、今後も持続的成長に重点を置いたマーケティング投資、活動を続けてまいります。

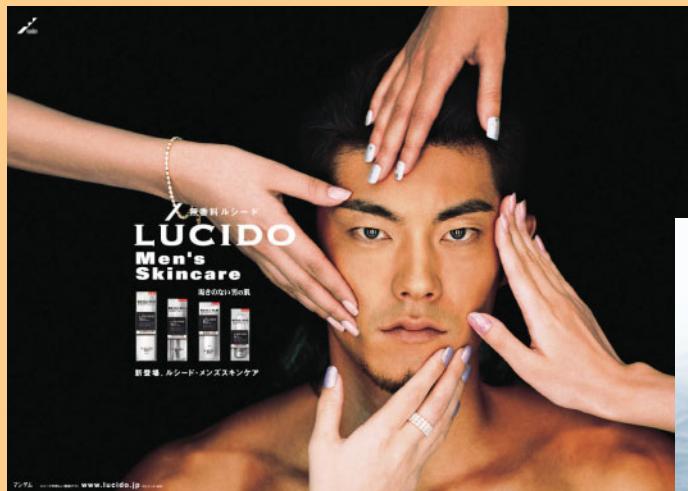
以上により、当期の連結売上高は467億円、営業利益66億90百万円、経常利益63億50百万円、当期純利益31億50百万円を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役 社長執行役員 西村 元延

トピックス



新商品「ルシード スキンケア」シリーズ



コーポレートガバナンスとコンプライアンスの強化

6月より、コーポレート・ガバナンス体制の更なる強化のための新経営管理体制がスタートしました。今回は特に「意思決定・監査機能」と「業務執行機能」の分離を図るため、役付取締役制度を実質的に廃止し、役付執行役員制度を導入するとともに、執行役員員の取締役兼任を制限しました。

また、客観的株主視点からの監督機能を強化するため、社外取締役・監査役を増員しました。その結果、社内取締役は10名か

ら7名に減少し、社外取締役が1名増加し2名となりました。監査役は社外2名を含め4名となります。

一方、社内のコンプライアンス強化徹底のために7月に「マダムグループ独占禁止法遵守プログラム」を発行しました。マダムグループの構成員として独占禁止法上遵守しなければならない事項を事業活動別に解説しており、これを重要なツールとしてコンプライアンス意識の社内へのいっそうの浸透を図っていきます。

男性用本格スキンケアシリーズ発売

当社は無香料男性化粧品の「ルシード」ブランドから30代の男性向けに本格的なスキンケアシリーズを発売しました。商品開発前の調査では、30代の男性の肌に対する意識は予想以上に高く、これまで開拓されていなかった市場であるだけに、今後の成長が期待されています。

従来外国人男性が出演することが多い「ルシード」のテレビコマーシャルですが、肌質の良さを身近に感じてもらうため、同じ日本人の俳優RIKIYAさんを起用しています。「あのルシードからスキンケアが出た!」という登場感でルシードブランドの裾野を広げ、30代の一般男性にとってスキンケアを日常のものとしてもらえるようにすることを目標としています。

環境コミュニケーションレポートを発行

当社は、1999年より環境活動については、ホームページの中にコーナーを設けてお知らせしてきましたが、このたび、2003年度の活動についてまとめた「環境コミュニケーションレポート 2004」をはじめて冊子で発行しました。コミュニケーションレポートの内容はホームページ上でも公開しています。事業活動を通して環境・安全、人権、雇用、社会貢献などに対する方針や考え方、取り組みを紹介しています。一人でも多くのステークホルダーの皆さまに手に取って読んでいただくことによってコミュニケーションを深め、より一層環境保全活動を推進していきたいと考えています。

今後とも、環境負荷低減を図るとともに、環境効率を高める努力を続けていきます。また、環境報告書を継続的に発行することにより、内容の充実を図っていきたくており、次回の発行は2005年の9月を予定しています。



環境コミュニケーションレポート 2004

中国上海でテストマーケティング実施

4月からコンビニエンスストア、ドラッグストアなどの組織小売業、および上海の若者が集まる地下ショッピングモール内に店出したインフォメーションショップの合計27店舗でのテストマーケティングがスタートしました。組織小売業、インフォメーションショップともに好調に推移しています。

7月3~4日には、ギャツビーブランドの認知度アップのために盛大なイベントを実施しました。ギャツビーガールによる5万個のサンプル配布やパソコンによるヘアスタイルシミュレーション、プロスタイリストによるヘアアドバイスなどを行い、多くの地元生活者にギャツビーに触れていただく機会を提供することができました。



中国 上海インフォメーションショップ

活発な海外マーケティング展開の実施

当社は海外での「ギャツビー」ブランド告知を強化しており、ギャツビーヘアカラーのCF「幸せなら毛をたたこう」が4月に香港TV-CF大賞を受賞しました。香港では昨年もギャツビーシェービングのTV-CFで同賞を受賞しており、2年連続の大賞受賞でギャツビーブランドの認知度・信頼度もいっそう向上しています。

女性ヘアメイクブランドの「ルシードエル」は、ブランドキャラクター安室奈美恵さんの初のアジアツアー会場(台湾・韓国・香港)で、ヘアワックス使用体験やサンプリングなどのPRを実施しました。キャラクターとブランドのインパクトある連動性により効果的な認知拡大を図ることができました。

中国 上海ギャツビーガール行進

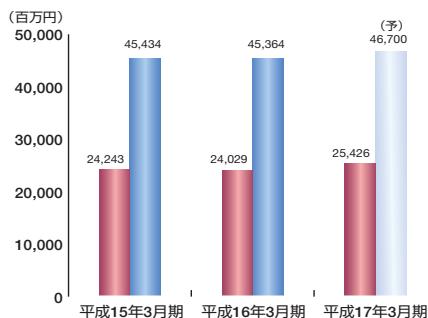


台湾 安室さんコンサート会場前

財務ハイライト [連結]

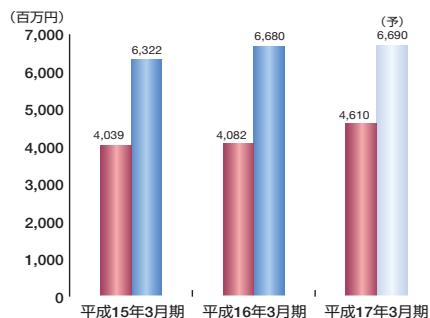
■ 中間期 ■ 通期

●売上高



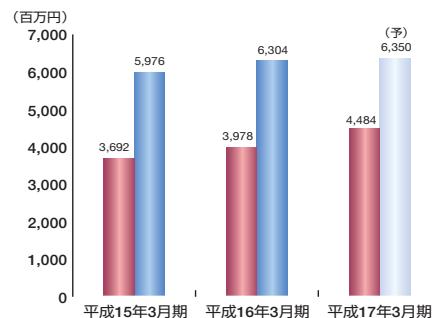
	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	8.6	△0.9	5.8
増減率(通期)	8.0	△0.2	(予)2.9

●営業利益



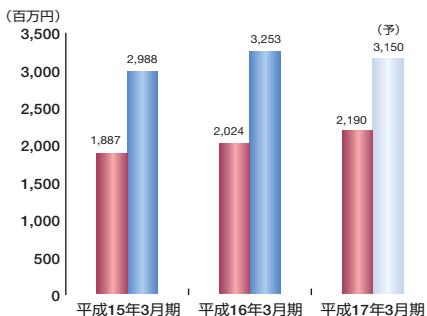
	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	24.5	1.1	12.9
増減率(通期)	21.3	5.7	(予)0.1

●経常利益



	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	44.8	7.8	12.7
増減率(通期)	31.8	5.5	(予)0.7

●当期純利益



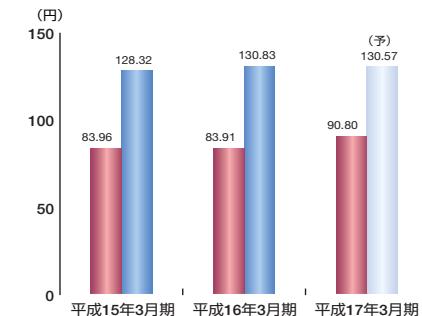
	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	42.1	7.2	8.2
増減率(通期)	37.3	8.9	(予)△3.2

●株主資本当期純利益率(ROE)



	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	1.9	△0.5	0.2
増減率(通期)	2.2	△0.2	(予)△0.7

●1株当たり当期純利益(EPS)



	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	53.9	△0.1	8.2
増減率(通期)	38.0	2.0	(予)△0.2

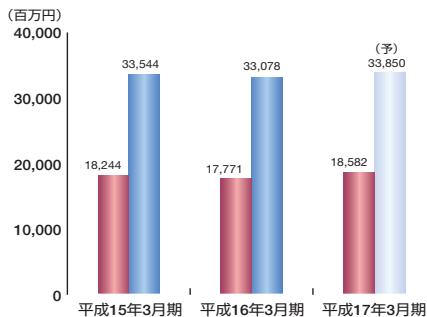
(注) ROE = 当期純利益 / {期首資本の部合計(新株式払込金を除く) + 期末資本の部合計(新株式払込金を除く)} / 2

EPS = 当期純利益 / 期中平均株式数

財務ハイライト [単体]

■ 中間期 ■ 通期

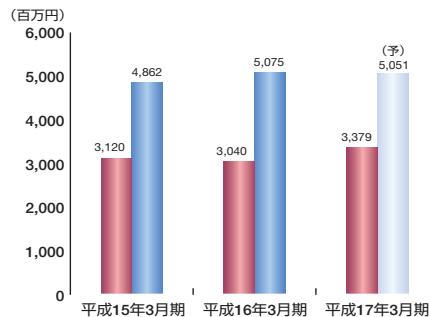
●売上高



(%)

	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	8.9	△2.6	4.6
増減率(通期)	6.9	△1.4	(予)2.3

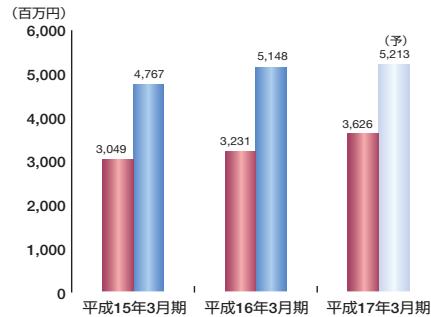
●営業利益



(%)

	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	27.4	△2.6	11.2
増減率(通期)	26.0	4.4	(予)△0.5

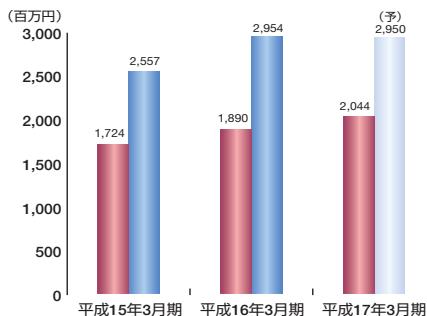
●経常利益



(%)

	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	40.2	6.0	12.2
増減率(通期)	29.9	8.0	(予)1.3

●当期純利益



(%)

	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	35.0	9.7	8.1
増減率(通期)	25.9	15.5	(予)△0.1

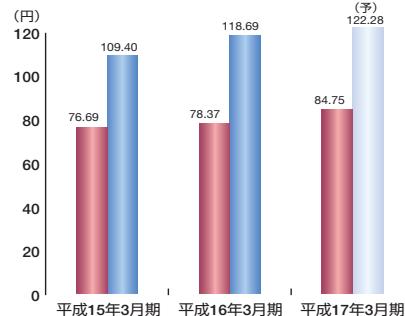
●株主資本当期純利益率(ROE)



(ポイント)

	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	1.4	△0.2	0.2
増減率(通期)	1.5	0.4	(予)△0.3

●1株当たり当期純利益(EPS)



(%)

	H15/3	H16/3	H17/3
増減率(中間期)	46.2	2.2	8.1
増減率(通期)	26.2	8.5	(予)3.0

財務諸表 [連結]

●中間貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	期 別		
	当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)	前 期 (平成16年 3月31日現在)
資 産 の 部			
流 動 資 産	27,046	24,393	24,811
現金及び預金	5,335	5,434	5,635
受取手形及び売掛金	5,678	5,654	5,773
① 有 価 証 券	9,799	7,000	7,383
たな卸資産	5,026	5,145	4,870
繰延税金資産	546	524	481
そ の 他	724	692	721
貸倒引当金	△64	△ 58	△ 54
固 定 資 産	20,645	21,478	20,663
有形固定資産	12,462	13,434	12,757
② 建物及び構築物	7,610	8,410	7,982
機械装置及び運搬具	2,457	2,591	2,589
土 地	1,537	1,580	1,552
そ の 他	856	851	634
無形固定資産	555	449	547
投資その他の資産	7,627	7,595	7,357
資 産 合 計	47,691	45,872	45,474

POINT①

マンダム単体における手元流動性の運用により前期に引き続き増加しています。

POINT②

マンダム単体における本社ビルなどの減価償却が進展したことにより減少しています。

(単位:百万円)

科 目	期 別		
	当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)	前 期 (平成16年 3月31日現在)
負 債 の 部			
流 動 負 債	6,276	6,157	5,437
支払手形及び買掛金	1,418	1,544	1,310
そ の 他	4,858	4,613	4,127
固 定 負 債	1,713	1,626	1,649
繰延税金負債	5	16	4
退職給付引当金	459	468	446
そ の 他	1,249	1,140	1,199
負 債 合 計	7,990	7,784	7,087
少 数 株 主 持 分	1,868	1,841	1,699
資 本 の 部			
資 本 金	11,394	11,394	11,394
資 本 剰 余 金	11,235	11,235	11,235
利 益 剰 余 金	18,033	15,824	16,450
その他有価証券評価差額金	257	150	373
③ 為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 3,062	△ 2,338	△ 2,745
自 己 株 式	△ 24	△ 20	△ 21
資 本 合 計	37,833	36,246	36,687
負債、少数株主持分及び資本合計	47,691	45,872	45,474

POINT③

継続的な現地通貨安傾向によるものであります。

●中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期	前 期
		平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
4 売上高		25,426	24,029	45,364
売上原価		10,314	9,772	18,725
5 売上総利益		15,111	14,257	26,638
販売費及び一般管理費		10,501	10,175	19,958
営業利益		4,610	4,082	6,680
営業外収益		175	252	530
営業外費用		301	356	907
経常利益		4,484	3,978	6,304
特別利益		61	25	70
特別損失		28	24	94
税金等調整前中間(当期)純利益		4,518	3,979	6,279
法人税、住民税及び事業税		1,853	1,720	2,746
法人税等調整額		135	3	△44
6 少数株主利益		339	230	324
中間(当期)純利益		2,190	2,024	3,253

POINT 4

国内事業については、猛暑の影響により夏シーズン商品は出荷増となったものの、女性化粧品低迷により微増収。海外事業については、ブランド浸透により20%を超える大幅増収となっております。

POINT 5

国内外とも原価低減・増収効果により、販管費増額を吸収し大幅増益となっております。

POINT 6

寄与度の高い海外関係会社の少数株主持分が反映されております。

●中間剰余金計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期	前 期
		平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
資 本 剰 余 金 の 部				
資本剰余金期首残高		11,235	11,235	11,235
資本剰余金中間期末(期末)残高		11,235	11,235	11,235
利 益 剰 余 金 の 部				
利益剰余金期首残高		16,450	14,619	14,619
利益剰余金増加高		2,282	2,024	3,253
中間(当期)純利益		2,190	2,024	3,253
連結子会社増加に伴う増加高		22	-	-
持分法適用会社増加に伴う増加高		70	-	-
利益剰余金減少高		700	819	1,422
配 当 金		603	723	1,326
役 員 賞 与		97	95	95
自己株式処分差損		-	0	0
利益剰余金中間期末(期末)残高		18,033	15,824	16,450

●中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期	前 期
		平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,120	3,176	4,396
投資活動によるキャッシュ・フロー		△1,879	△1,118	△1,810
財務活動によるキャッシュ・フロー		△737	△861	△1,456
現金及び現金同等物に係る換算差額		△2	7	△21
現金及び現金同等物の増加(減少)額		1,500	1,203	1,107
現金及び現金同等物の期首残高		9,767	8,659	8,659
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加高		82	-	-
現金及び現金同等物の期末残高		11,350	9,862	9,767

財務諸表 [単体]

●中間貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別 当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)	前期 (平成16年 3月31日現在)
資産の部			
流動資産	21,413	18,985	19,813
現金及び預金	5,112	5,248	5,092
受取手形	6	31	21
売掛金	3,467	3,641	4,396
① 有価証券	9,799	7,000	7,383
たな卸資産	2,223	2,169	2,128
繰延税金資産	401	391	371
その他	438	543	463
貸倒引当金	△ 36	△ 42	△ 43
固定資産	23,198	23,436	23,050
有形固定資産	9,961	10,574	10,286
建物	6,476	6,953	6,713
機械及び装置	1,262	1,424	1,389
土地	1,427	1,427	1,427
その他	794	769	754
無形固定資産	501	434	481
② 投資その他の資産	12,735	12,427	12,281
資産合計	44,611	42,422	42,863

POINT①

期間利益による手元流動性の運用により前期に引き続き増加しております。

POINT②

関係会社株式の評価損はあったものの、金融資産運用が増加したことによるものです。

(単位:百万円)

科目	期別 当中間期 (平成16年 9月30日現在)	前中間期 (平成15年 9月30日現在)	前期 (平成16年 3月31日現在)
負債の部			
流動負債	4,875	4,644	4,428
③ 支払手形	631	627	371
買掛金	539	520	818
その他	3,705	3,496	3,238
固定負債	1,313	1,268	1,243
退職給付引当金	248	324	247
役員退職慰労引当金	601	564	595
その他	463	378	401
負債合計	6,189	5,912	5,671

資本の部

資本金	11,394	11,394	11,394
資本剰余金	11,235	11,235	11,235
利益剰余金	15,561	13,750	14,211
その他有価証券評価差額金	255	149	371
自己株式	△ 24	△ 20	△ 21
資本合計	38,422	36,509	37,191
負債及び資本合計	44,611	42,422	42,863

POINT③

支払手形(季節商材の仕入に伴う手形決済)が増加しました。

●中間損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当中間期 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	前中間期 平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	前 期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで
4 売 上 高		18,582	17,771	33,078
5 売 上 原 価		7,437	7,148	13,567
5 売 上 総 利 益		11,145	10,622	19,511
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		7,766	7,582	14,435
営 業 利 益		3,379	3,040	5,075
営 業 外 収 益		431	470	728
営 業 外 費 用		184	279	655
経 常 利 益		3,626	3,231	5,148
特 別 利 益		59	16	53
6 特 別 損 失		477	21	86
税 金 等 調 整 前 中 間 (当 期) 純 利 益		3,207	3,226	5,115
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,365	1,320	2,123
法 人 税 等 調 整 額		△ 202	15	37
中 間 (当 期) 純 利 益		2,044	1,890	2,954
前 期 繰 越 利 益		664	605	605
中 間 配 当 額		-	-	603
自 己 株 式 処 分 差 損		-	0	0
中 間 (当 期) 未 処 分 利 益		2,708	2,496	2,957

POINT 4

主力ブランド「ギャツビー」が100億円を達成し、猛暑による夏シーズン品の好調も相俟って、ヘアカラーの低迷を補い、増収となりました。

POINT 5

数量効果等もあり、引き続き採算率が改善されております。

POINT 6

関係会社株式評価損449百万円を計上しております。



会社概要

会社概要

(平成16年9月30日現在)

社名 株式会社 マンダム

本社 大阪市中央区十二軒町5番12号

設立 昭和2年12月23日

資本金 11,394,817,459円

従業員 474名

事業内容 化粧品、香水の製造および販売
医薬部外品の製造および販売

HPアドレス <http://www.mandom.co.jp>

大株主

(平成16年9月30日現在)

氏名又は名称	所有株式数 (千株)	所有株式数の 比率(%)
財団法人西村留学生奨学財団	1,800	7.46
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,426	5.91
ザバンク オブ ニューヨークトリートイー ジャステック アカウント	1,401	5.81
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,114	4.62
西村元延	1,005	4.16
西村輝久	811	3.36
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	668	2.77
マンダム従業員持株会	641	2.66
リンクス	547	2.27
ピーエヌビー パリバセキュリティーズサービス ロンドン/ジャステックユーケーレジデンツ	521	2.16

(注) 所有株式数の比率は発行済株式の総数をもとに算出しております。

株式会社マンダムはISO14001(福岡工場)と
ISO9001(本社・福岡工場)を認証取得しております。

役員

(平成16年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	西村元延
代表取締役 副社長執行役員	亀井浩
取締役 常務執行役員	西海義勝
取締役 常務執行役員	佐治健二
取締役 常務執行役員	山田憲治
取締役 常務執行役員	野崎浩治
取締役 常務執行役員	桃田雅好
取締役	鈴木政志 ^{※1}
取締役	後藤光男 ^{※1}
常勤監査役	樋口俊人
常勤監査役	松山金豊
監査役	小寺一矢 ^{※2}
監査役	高木進 ^{※2}

※1 社外取締役です。

※2 社外監査役です。



本社ビル
〒540-8530
大阪市中央区十二軒町5-12



**マンダムグループ
東京日本橋ビル**
〒103-0027
東京都中央区日本橋2-16-6

東京ビル
〒275-0023
千葉県習志野市芝園2-6-3



連結会社の状況

国内グループ会社

(2004年9月30日現在)

社名	資本金または出資金	主な事業内容	議決権比率
株式会社ピアセラボ	200百万円	美容院・エステティックサロンの業務用およびホームケア製品の販売	100.0%
株式会社ミック	300百万円	ヨーロッパの高級スキンケア製品を中心にカウンセリング販売	100.0%
株式会社エムザ	450百万円	メイクアップ化粧品を中心にバラエティショップなどで販売	100.0%
株式会社ギノー・ジャパン	100百万円	フランスのエステティックブランド「ギノー」の販売	100.0%
株式会社ビューコス	100百万円	グループ会社・OEMなど化粧品を中心に製造・輸入・販売	100.0%
株式会社マンダムビジネスサービス※	10百万円	保険代理業およびマンダム本社ビル管理業務	100.0%

※連結対象外です。

海外グループ会社

(2004年9月30日現在)

所在地	社名	資本金	主な事業内容	議決権比率
韓国	Mandom Korea Corporation	25億ウォン	韓国における化粧品の販売	60.0%
台湾	Mandom Taiwan Corporation	5,000万ニュー台湾ドル	台湾における化粧品の販売	100.0%
中国(中山)※	Zhongshan City Rida Fine Chemical Co., Ltd.	600万U.S.ドル	マンダムグループ各社の化粧品の製造を担う拠点のひとつ	58.4%
中国(香港)	Sunwa Marketing Co., Ltd.	1,200万香港ドル	中国における化粧品の販売	39.0%
フィリピン	Mandom Philippines Corporation	3,000万フィリピンペソ	フィリピンにおける化粧品の販売	100.0%
タイ※	Mandom corporation (Thailand) Ltd.	5,000万バーツ	タイにおける化粧品の販売	35.0%
マレーシア	Mandom (Malaysia) Sdn. Bhd.	1,000万リンギット	マレーシアにおける化粧品の販売	97.3%
シンガポール	Mandom Corporation (Singapore) Pte Ltd	60万シンガポールドル	シンガポールにおける化粧品の販売	100.0%
インドネシア	PT Mandom Indonesia Tbk	780億ルピア	インドネシアにおける化粧品の製造販売 マンダムグループ各社の化粧品の製造を担う拠点のひとつであり、ジャカルタの2つの工場(ススター工場、チビトン工場)で、容器の製造から一貫して生産	60.1%

(注)2004年4月1日より、Mandom Korea Corporation(韓国)を連結対象子会社に、Sunwa Marketing Co., Ltd.(香港)を持分法適用会社に変更しております。

※連結対象外です。

株式の状況

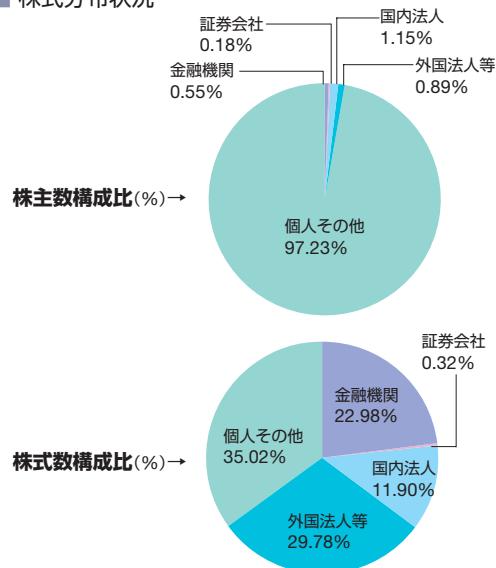
株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
権利確定日	利益配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都府中市日鋼町1番10号 〒183-8701 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	住所変更等用紙のご請求 ☎0120-175-417 その他のご照会 ☎0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
公告掲載新聞	日本経済新聞に掲載いたします。ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 〈 http://www.mandom.co.jp 〉において提供しております。
株主優待	毎年3月31日現在の100株以上ご所有の株主に対し、5,000円相当の当社製品を6月初旬に贈呈します。

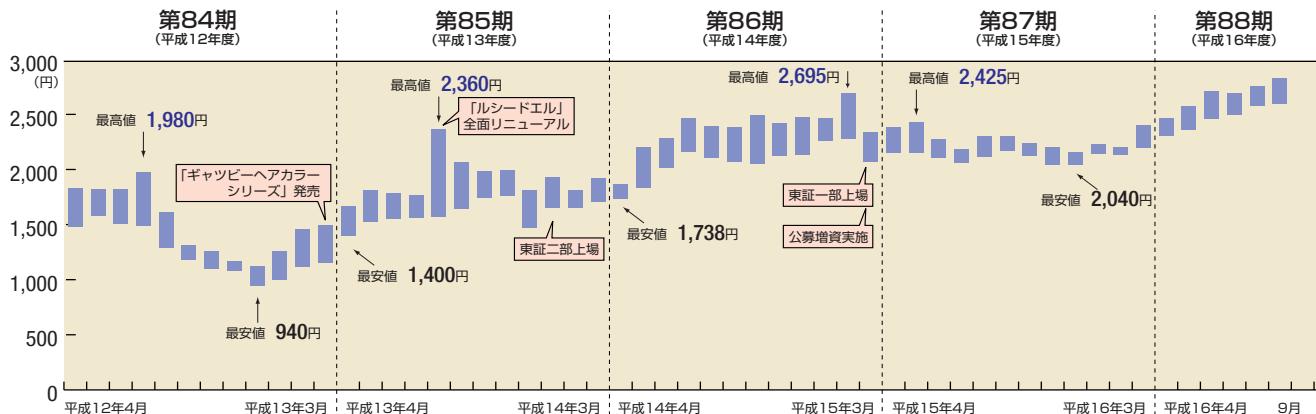
株式の状況

(平成16年9月30日現在)

- 発行済株式の総数 24,134,606株
- 株主数 10,996名
- 株式分布状況



株価推移

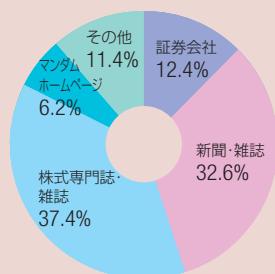


第87期事業報告書アンケート結果

前期事業報告書において実施いたしました株主の皆さまへのアンケート集計結果をご報告させていただきます。

なお「5. 株主として当社に対するご意見・ご要望をお聞かせ下さい。」以外は複数回答となっております。

1. 株式を購入される際どの情報を重視されますか。



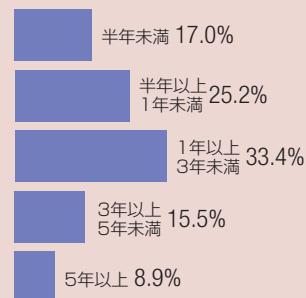
回答数 979

2. 当社株式を購入された理由についてお聞かせ下さい。



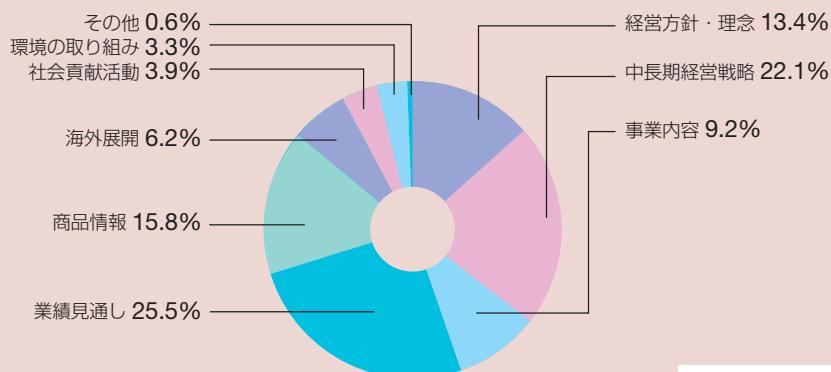
回答数 2,218

3. 当社株式をどれくらい保有されているかお聞かせ下さい。



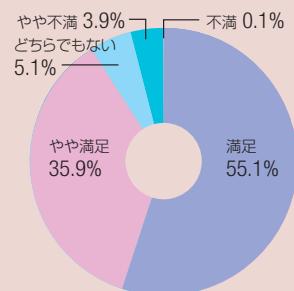
回答数 727

4. 当社IR情報内容としてくわしく知りたい項目をお聞かせ下さい。



回答数 1,341

5. 株主として当社に対するご意見・ご要望をお聞かせ下さい。



● アンケートご協力のお礼

さまざまな角度からたくさんのご回答をいただき、ありがとうございました。
貴重なご意見として承るとともに、紙面をお借りしてお礼を申し上げます。



お問い合わせ先

株式会社マンドム 広報IR室

〒540-8530 大阪府大阪市中央区十二軒町5番12号

TEL: 06-6767-5020 FAX: 06-6767-5043

アニュアル・レポート2004、事業報告書、中間決算短信などの資料は、ホームページにも掲載されております。



この冊子は環境にやさしい大豆インキを
使用しています



古紙配合率100%再生紙を使用しています